自然地理学概論Ⅱ
自然地理学概論
Introduction to Physical Geography Ⅱ

SAWADA Yasunori
澤田　康徳

科目ナンバリング：DEC-2-360-08/DIB-2-441-08/DIS-1-351-08/DLP-2-365-08
商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標
地球環境問題が顕在化し関連諸科学が協同して解決に向かうことが求められています．自然地理学にはどのような役割が期待されるかをみなさんが考え共有し社会や教育で求められることを理解することを目的とします．
到達目標は，以下から構成されます．
【知識】自然地理学に関わる地球的課題を説明できる．
【資料や方法の理解】地球規模の課題はどのような資料や方法により把握できるのか，自ら資料を用いて問題を示すことができる．
【構成力】発達段階に応じた自然地理学的学習内容を精選し構成できる．以上の習得を目指します．

■授業計画
1 身近な環境；都市環境
人間活動が顕著な場所は都市です．その都市が自然に与える影響の可能性をみます．
2 都市と郊外の環境差
人間や都市は自然の改変と深くかかわります．地形，水文環境の他，気候環境について都市と郊外の差を捉えるようにします．
3 近年の異常気象の発生
災害に関わる異常気象の発生を，数十年遡ってみるようにします．統計的な学習内容が多く含まれるので，なぜこのような「値」となるのか，なぜその値が問題となり得るのかなど復習によってｒ会を深めるようにして下さい．
4 小～大地形
自然災害はは，様々な要素が関わります．ここでは，地表特に地形を小さなスケールから大きなスケールまで捉え，災害に結びつく地形を考察します．
5 災害事象
これまでの 1～5 回目の内容をもとに，自然災害のを総合的に理解することを目指します（課題在り）．その理解度によって以降の内容を調節します．
6 観測や調査について
自然や災害がどう把握されるのかを知り，自ら調べられるようにします（課題あり）．
7 人口問題
人口と環境の関係性を理解します．
8 砂漠化
植生がない地域でサハラ砂漠などの砂漠増大する原因だけでなく，将来的にどのような変化を地球にもたらしうるのかを理解します．
9 日本の文化と環境
日本を社会的側面からまず理解します．そして，社会と自然の関わりをまなびます．
10 日本の環境変動
環境が変化することが，9 回目でまなんだことにどのような影響を与えるのかを考えます．
11 人々の環境認識
第 12 回には，子どもの環境認識を考えます．一般的に，大学生や社会人の自然に対する認識の仕方そうなる理由を探ります．
12 子どもの環境認識
これまで学んだ自然が，子どもにはどのように認識されているのか，自然の現状との相違性を考えます．
13 地球システム
地表における自然環境の構成要素の理解を総合し，地球の理解を深めるまとめをします．

■授業の方法
本授業は，オンデマンドですが、授業各回において前回の課題のフィードバックとしてみなさんの考えや疑問についてとりあげます．各回の課題の提出を踏まえて授業を構成します．特に自然地理学IIは環境的課題を多く含むので，「どうすればよいか」など考える積極性を求めます．

■予習・復習
基本的には復習を重視します．既習事項を踏まえて授業を展開するからです．ですので，分からないことをそのままにしないよう，各回において復習し，質問がある場合は積極的にして下さい．

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
成績評価は、学期末に提出するレポート５０％、日頃の課題レポート（３回）３０％、授業での簡単な課題２０％の 割合で評価します。なお、レポート等の提出は、Blackboard を通して行います．

■教科書・参考書
資料は適宜紹介します．基本的に，論文等の web で得られる資料を用いて授業を展開します．みなさんが自身で深めることができることをねらっています．そのほか，学ぶべき内容や資料等は適宜紹介するようにします．

■関連する科目
自然地理学概論 I